

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		特産品地域ブランド推進協議会運営活動支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	産業振興部	課長名	米澤 俊一
	施策	11	農業の振興			所属課	商工振興課	担当者名	中村公彦
	基本事業	32	関係機関との連携の強化			所属班	商工・企業誘致班	(内線)	2321
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	6
		1	7	1	1	11316		コスト削減優先度評価結果	5
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 21 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	【開始した背景・きっかけ】 H19年5月に財団法人くまもとテクノ産業財団のバイオフォレストサポ-トセンターが西合志庁舎に設置され、その活動の中から合志市の物産をブランド化する活動に発展した。 【事業の内容】 合志市物産品地域ブランド推進協議会の企画運営
【業務の流れ】	協議会、専門部会の開催【会議企画の起案、開催通知発送、会議の進行・記録、報酬等の支払】 会議結果等に伴う事業の実施【アンケート調査、ホームページ作成など】 テクノ財団(ブランドアドバイザー、コーディネーター)との連絡調整
【主な予算費目】	報酬、職員手当、報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、備品購入費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	ブランドを構築するにあたって、認証制度の創設及び協議会の運営方針について、十分な検討をして、この事業が決して頓挫することのないよう、組織体制を確立して、合志市の知名度の向上と、農家所得の安定、更に消費者が安心して食されるブランド化を目指すこと等の意見がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
協議会の開催 専門部会の開催 現地調査、アンケート調査 ホームページの開設	協議会の開催 専門部会の開催 認証品の選定、マーケティング活動 ホームページの運営管理
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
→ ア:協議会の開催回数 回	→ イ:専門部会の開催回数 回
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
市内農家、市内商工業者、市内消費者、市産農産物等(加工品含む)	→ ア:認証対象の生産者 者
	→ イ:認証対象の産物等数 件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	→ ア:認証した物産数 件
物産品を「合志ブランド」として認証する	→ イ:
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	回			16	4	4	4	
	イ	回			12	22	24	24	
⑤ 対象指標	ア	者			25	20	30	40	
	イ	件			47	28	50	70	
⑥ 成果指標	ア	件			30	0	10	20	
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源	千円			5,581	3,800	4,741	5,000	5,000
	(A) 事業費計	千円	0	0	5,581	3,800	4,741	5,000	5,000
	(A)のうち指定経費	千円			0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円			404	381	202	200	200
	人件費	正規職員従事人数	人			4	3	2	2
	延べ業務時間	時間			4,224	1,620	1,500	1,500	
(B)人件費計	千円	0	0	16,812	6,448	5,970	5,970	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	22,393	10,248	10,711	10,970	5,000	

総トータルコスト	
全体計画	
~ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

合志市

事務事業名	特産品地域ブランド推進協議会運営活動支援事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	------------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	協議会での検討が進まず、合志ブランドの認証が出来なかった。		
有効性評価	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
	H22.3に認証審査部会で認証品を選定し、H22.5の協議会で決定する予定。		
効率性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	順じ協議会で認証していく予定であり、向上余地はある。		
公平性評価	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
	特産品地域ブランド推進協議会のような活動は他にない。		
役割分担評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	委員の報酬と費用弁償が主であるが、ブランド品の認証に加えて、認証品の売り出し方法なども検討する必要があり、会議の回数は減らせないので、削減余地はない。		
役割分担評価	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	担当の地域ブランド推進室と商工観光課が両庁舎に離れている為、連絡調整等時間が掛かっているため、同じ庁舎で業務できれば削減できる。		
役割分担評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	市内の産業を育てる取組であり公平であるが、直接的な受益は事業者等に及ぶので、協議会運営へ、何らかの負担を求めることも考える必要がある。		
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷
	協議会を市が主体で運営しているが、物産振興会等があれば主体を移行して運営をした方が良い。		

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

H22年度初めの協議会で認証品を選定することができそうであり、一定の成果は見られた。
--

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			△	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持			△																				
	低下			×																				
H22年度初めの協議会で認証品を選定するが、選定後は認証品を販売する戦略を検討する。ホームページの更新や物産フェア等への参加も行う。協議会の運営を引き継ぐ団体等の検討を行う。																								
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 H22年度は、認証品も選定され、ホームページも開設する。認証品の広報活動や販路の検討など新たに検討する事柄も多くなるので、商工振興課と一体で業務に取り組める体制が必要である。また、新たな特産品開発についても検討が必要である。																								